

消化器・総合外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。手術前の説明時に、医学研究へのご協力を同意していただきました内容に則して適正に実施致します。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 術中胆汁培養と膵頭十二指腸切除後膵液瘻の関連についての検討

[研究機関] 奈良県立医科大学附属病院 消化器・総合外科

[研究承認] 当大学医の倫理審査委員会での審査を経て学長より許可されました。

[研究実施期間] 2013年1月から2026年12月までを予定しております。

[研究代表者] 中村 広太（消化器・総合外科）

[研究資金] なし

[利益相反] 本研究に携わるすべての研究者はいかなる利益相反も有していません。

[研究の目的] 術中胆汁内細菌が膵切除術合併症にどのような影響を与えるかを検討します。

[研究の意義]

膵切除術は、患者様への負担の大きな手術であり、特に術後膵液瘻が重要な問題となります。膵液瘻は膵臓切除後の断端から膵液の漏出が続く合併症であり、それに続きさらに重篤な病態へ発展する可能性があります。膵切除を受ける患者様の、肝臓の一部である胆管には胆汁が存在しますが、胆汁中に存在する細菌が術後膵液瘻に影響する可能性があります。さらに、菌種ごとにその危険性が異なる可能性があります。今回の研究により、どのような菌種が膵液瘻の原因となっているかを明らかにできる可能性があります。

[研究の方法] 当院で膵切除術を受けられた患者様の電子カルテ内の情報を用いて、統計学的に解析を行います。

●対象となる患者さん

2013年1月より2024年12月までの間に当院で膵切除術を受けられた方。

●利用する情報

- 患者情報：性別、手術時年齢、生存情報、
- 治療歴情報：術中胆汁培養結果、術後ドレン培養結果、血液検査結果、周術期情報

[個人情報の取り扱い]

カルテから、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報を削除した上で、上述の情報のみを残したデータを用いて解析します。

[患者様の負担や利益] 本研究による患者様の負担や利益は生じません。

*上記の研究にカルテ情報等を利用することをご了解いただけない場合や、研究に関する資料閲覧の希望などの問い合わせがありましたら、下記にご連絡ください。なお、ご了承いただけない場合に何らかの不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

奈良県橿原市四条町 840

奈良県立医科大学附属病院 消化器・総合外科 担当医師 中村 広太

電話 0744-22-3051 FAX: 0744-24-6866 e-mail: surg-1@naramed-u.ac.jp